

作成日：2004 年 4 月 1 日

改訂日：2016 年 5 月 2 日

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

製品名 プレノカラーN グリーン

会社名 日新工業株式会社

住所 〒120-0025 東京都足立区千住東 2 丁目 23 番 4 号

担当部門 技術部

電話番号 048-755-6188 FAX 番号 048-755-6177

緊急連絡先 03-3882-2613 営業総務課

奨励用途及び使用上の制限 工業用（建築用仕上げ材 等）

整理番号 AR-T015

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

分類の名称（分類基準は日本方式）：その他の有害性物質。

GHS 分類

急性毒性 経口	区分外	発がん性	区分外
急性毒性 経皮	区分外	生殖毒性	区分 1
急性毒性 吸入	区分外	標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外	標的臓器／全身毒性(反復暴露)	分類できない
眼損傷/眼刺激性	区分外	吸引性呼吸器有害性	分類できない
呼吸器感作性	区分外	水生環境有害性(急性)	区分外
皮膚感作性	区分外	水生環境有害性(長期間)	区分外
生殖細胞変異原生	区分外		

※ 記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

- ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

注意書き

<安全対策>

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること
- ・ すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと
- ・ 必要に応じて個人用保護具を使用すること

<救急処置>

- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断/手当を受けること

<保管>

- ・ 施錠して保管すること

<廃棄>

- ・ 内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

製品は混合物

化学名

アクリルエマルション

一般名

アクリル樹脂系合成樹脂エマルションペイント

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
水和酸化第二鉄（黄色酸化鉄）	1～10	$\text{FeOOHFe}_2\text{O}_3\text{H}_2\text{O}$	—	51274-00-1
クリストバライト	0.1～3	SiO_2	—	14464-46-1
カーボンブラック	0.1～3	C	—	1333-86-4
塩素化フタロシアニングリーン	0.1～3	$\text{C}_{32}\text{Cl}_{16}\text{CuN}_8$	(5)-3315	1328-53-6
エチレングリコール	0.1～3	$\text{HOCH}_2\text{CH}_2\text{OH}$	(2)-230	107-21-1

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・ 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、直ちに、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・ 付着物を布にて素早く拭き取る。大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・ 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

目に入った場合：

- ・ 直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・ 医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

- ・ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして医師の診断を受ける。
- ・ 嘔吐物は飲み込ませないこと。

5. 火災時の措置

消火剤：

水、粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、乾燥砂が有効である。

火災時の特定危険有害性：この物自体には可燃性なし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	作業の際には適切な保護具（ゴム又はプラスチック手袋、呼吸器用保護具、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
環境に対する注意事項：	河川等へ排出され、環境へ影響を起こすことがないように注意する。
除去方法：	漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸着させて回収する。大量の流出には盛り土などで囲って流出を防止する。
二次災害の防止策：	付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	換気の良い場所で取り扱う。
保管：	日光の直射を避けること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：	装置は耐腐食性のある材料を用いて作ること。腐食性物質に、作業者が直接触れたり、暴露しないような配慮をすること。
-------	---

管理濃度及び許容濃度：

成 分	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会(2005)	ACGIH(2005)
クリストバライト	—	—	TWA 0.025mg/m ³
カーボンブラック	—	—	TWA 3.5mg/m ³
エチレングリコール	—	—	TWA-STEL Ceiling; 100ppm/m ³ (H) A4

保護具

呼吸器用の保護具	ミストなどの吸入を妨げるマスクを着用する。
目の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡。
皮膚及び身体の保護具	有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
適切な衛生対策	特になし。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：	液体。
色：	グリーン。
臭い：	僅かアクリル臭。
pH：	7～9。

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲：

融点：	データなし。
凝固点：	データなし。
沸点：	製品 100℃

初留点： データなし。
 沸点範囲： データなし。
 引火点： 製品 データなし
 発火点： データなし。
 爆発特性： データなし。
 蒸気圧： データなし。
 蒸気密度： データなし。
 蒸発速度： データなし。
 比重： 1.1
 溶解性 データなし。
 オクタノール／水分配係数：
 データなし。
 分解温度： データなし。
 その他のデータ：
 特になし。

10. 安定性及び反応性

反応性： 情報無し。
 安定性： 情報無し。
 接触により危険性のある物質： 情報無し。
 燃焼などによる有害ガス発生： このものは燃えないが塗膜等が燃えた場合、CO等の発生。
 その他の反応性情報： 普通の条件での反応性はない。
 その他の危険性情報： 特になし。

11. 有害性情報

引火性液体： データ不足のため分類できない。
 急性毒性（経口）： 混合物として区分外に分類される。
 急性毒性（経皮）： 混合物として区分外に分類される。
 急性毒性（吸入）： 混合物として区分外に分類される。
 皮膚腐食性／刺激性： 混合物として区分外に分類される。
 眼損傷／眼刺激性： エチレングリコール；区分2B
 上記より混合物として区分外に分類される。
 皮膚感作性： 混合物として区分外に分類される。
 呼吸器感作性： 混合物として区分外に分類される。
 変異原性： 混合物として区分外に分類される。
 発がん性： カーボンブラック；区分2
 上記より混合物として区分外に分類される。
 生殖毒性： エチレングリコール；区分1B
 上記より混合物として区分1Bに分類される。
 特定標的臓器／全身毒性－単回暴露：

混合物として区分外に分類される。

特定標的臓器／全身毒性－反復暴露：

カーボンブラック；区分1（肺）

上記より混合物として区分外に分類される。

吸引性呼吸器有害性：混合物として分類できない。

その他の情報： 情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性：

水性生物有害性： カーボンブラックEC50(24hrs) 甲殻類（オミジソコ）>5600mg/L

エチレングリコールLC50(96hrs) 魚類（ヒメダカ）>100mg/L

上記より混合物として水性環境有害性(急性)、水性環境有害性(長期間)は区分外に分類される。

残留性／分解性： データなし。

生体蓄積性： データなし

土壌中の移動性： データなし。

他の有害影響： 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。

容器、機器装置等を洗浄した溶剤等は、地面や排水溝へ流さないこと。

焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

共通： 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

陸上輸送： 法規に該当しない。

海上輸送： 船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送： 航空法に定める所に従う。

国連番号： なし。

15. 適用法令

安衛法第57条の2第1項

水和酸化第二鉄、塩素化フタロシアニングリーン、カーボンブラック
クリストバライト、エチレングリコール

16. その他の情報

主な引用文献

独立行政法人製品評価技術基盤機構（N I T E）ホームページG H S 分類結果データベース

原料メーカーのM S D S

日本塗料工業会編集「G H S 対応M S D S ・ラベル作成ガイドブック」

日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」

国際化学物質安全カード（I C S C）

製品安全データシートの作成指針（改訂版）日本規格協会(2001年10月)

日本工業規格 J I S Z 7253 : 2012 G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
危険物船舶運送及び貯蔵規則 14訂版 海文堂

- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
- (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
- (3) このデータシートは通常想定される保管方法および取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取り扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
- (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご利用下さい。
- (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出してください。